

当社のコーポレート・ガバナンスの状況は以下のとおりです。

I コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及び資本構成、企業属性その他の基本情報

1. 基本的な考え方 更新

当社のコーポレートガバナンスに関する基本方針は下記のとおりです。

・当社は、「経営理念」および「会社方針」の実現を通じて、社会に貢献し、社会から必要とされる存在であり続けるため、株主、従業員、顧客、取引先、債権者、地域社会その他の様々なステークホルダーへの価値創造に配慮した経営を行い、企業価値向上へ繋がる最適なコーポレートガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組むものとする。

・当社は、当社の長期的な企業価値の向上のために、適確かつ迅速な意思決定・業務執行体制ならびに適正な監督・監視体制の構築を図るとともに、透明性を高め適切な情報開示と説明責任を果たすことにより、経営判断の合理性・客観性を保ち、当社の株主を含めた全てのステークホルダーの期待に応えていくものとする。

【コーポレートガバナンス・コードの各原則を実施しない理由】 更新

【補充原則1-2-2 招集通知の早期発送、電子開示】

当社は、これまで招集通知に正確かつ確実な情報を記載することに重きを置き、招集通知の発送を法定通りの株主総会開催日の2週間前としておりましたが、株主総会は株主の皆様との建設的な対話のための重要な場であることを踏まえ、招集通知早期発送のための体制を整え、株主総会開催日の2週間以上前での発送に取り組みます。同時に招集通知発送前の電子的公表も2016年度より実施致します。

【補充原則1-2-3 株主総会開催日の適切な設定】

当社は次の理由から、株主総会の開催日はいわゆる集中日での開催となっております。

ITツールを取り入れ業務効率化を行うとともに、決算日程に関しては適正な財務報告と、高品質な監査のために十分な時間確保が必要との観点から、現状の体制におきましては、決算業務との兼ね合いにより、株主総会開催日を含む日程の前倒しは困難な状況にあります。

このことから現時点では株主総会開催日程は上記のとおり継続することが濃厚な状況にありますが、株主の皆様との建設的な対話の充実に向け、将来的には上記記載の理由を解消させる方向で取り組んでまいります。

【補充原則1-2-4 議決権の電子行使の環境づくり、招集通知の英訳】

【補充原則3-1-2 英語での情報開示】

当社は、現在、当社の株主における海外投資家の比率は相対的に低いと考えておりますが、今後外国人株主比率等の推移も踏まえ、株主・投資家の皆様のご意見・ご要望も参考にしつつ、各種手続・費用等を勘案し、議決権の電子行使を可能とするための環境作り、招集通知の英訳および合理的な範囲における英語での情報の開示・提供につきまして検討を進めてまいります。

【原則4-8 独立社外取締役の有効な活用】

当社は、高い独立性を有することは勿論ながら、当社の事業に関連した、医療業界もしくは情報技術事業に高い見識を有し、かつ上場企業経営に関する豊富な知識と経験を有した人物が、独立社外取締役として適任であると考えております。現在、当社の独立社外取締役は1名ですが、上記観点からなる知識と経験を有しており、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与する役割・責務を果たす点において不足はないと捉えております。しかし、更なるコーポレートガバナンス体制の強化のため、今後、上記の観点ならびに当社の中長期的な企業価値の向上に寄与するような資質を備えた候補者が確保できれば、積極的に独立社外取締役に選任いたします。

【補充原則4-10-1 独立取締役による指名・報酬委員会の検討】

当社は経営陣幹部・取締役の指名においては的確かつ迅速な意思決定と適材適所の観点から人物・経歴等を総合的に考慮しております。報酬においては個々の実績を公正に判断し、代表取締役会長および取締役社長が検討したうえで、取締役に上程し、独立社外取締役、独立社外監査役が出席する取締役にて検討し、決議しているため、現行の仕組みで適切に機能していると考えております。

【補充原則4-11-3 取締役会の実効性分析・評価の実施と開示】

当社取締役会は、主要な事業の業務に精通し、様々な知識、経験、能力を有する者を取締役として選任するほか、有益な知見や経験を持つ社外取締役を選任しております。また、監査役会については、財務および会計に関する適切な知見を有する監査役を選任するほか、法曹を含めた他分野での知見など、全体のバランスを考慮し選任しています。以上のような取締役会構成のもと、毎年監査役会より各取締役に対してその職務とリスクについて調査リストを基にヒアリングを実施しておりますが、個々の取締役がその職務について機能性を有しているかの確認にとどまっているため、2016年度からは、更に各取締役の自己評価を得た上で、それを参考にしつつ、当社取締役会が「監督機能」と「経営陣幹部による適切なリスクテイクを支える環境整備機能」を十分発揮するよう、「自由闊達で建設的な議論が行われる議事運営」などに取り組むことにより、会社の持続的な成長と中期的な企業価値向上に繋がっているかという観点から、取締役会にて、その実効性について分析・評価を行ってまいります。

【コーポレートガバナンス・コードの各原則に基づく開示】 更新

【原則1-4 政策保有株式】

当社はいわゆる政策保有株式として上場株式を保有しておりません。今後も保有する方針はなく、原則として政策保有株式に依存しない経営を行います。

【原則1-7 関連当事者間の取引】

当社は「関連当事者取引管理規程」に基づき、新たに取引を行う前に取引相手が当社役員等の関連当事者に該当しないかどうかチェックを行っております。そのうえで、関連当事者との取引を行う場合は、取引条件及びその決定方法の妥当性について、独立社外取締役を含む取締役に

において十分に審議した上で意思決定を行っております。

また事前の審議に加え、審議の内容に基づいた取引が行われているかどうかについて、監査役による監査を行うなどの健全性及び適正性確保の仕組みを整備しております。

【原則3-1 情報開示の充実】

(i) 会社の目指すところ(経営理念等)や経営戦略、経営計画

当社は、東証や弊社ホームページを用い、適切に開示を行っております。

適時開示以外にも積極的に任意開示も行っております。

●経営理念および会社方針

《経営理念》

「感謝」「感動」「共感」

私達は、人と地球の健康に貢献し続けます。

私達は、お客様から信頼され、感動を提供し続けます。

私達は、明るく元気で、あたたかい会社づくりに挑戦し続けます。

私達は、適正な利益の確保、健全な経営を維持し続けます。

私達は、「ありがとう」を合言葉に、互いを認め、成長し続けます。

《会社方針》

「国民が安心して最適な医療を受けられるように、『国民が受けた自らの医療情報』がいつでもどこでも必要なときに医療機関並びに国民が確認できる環境を構築する」

●当社の経営戦略および経営計画につきましては当社ホームページにて中期経営計画を開示しております。

<http://www.emsystems.co.jp/image/info/ir/irnews/2014/20140513-05.pdf>

(ii) 本コードのそれぞれの原則を踏まえた、コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方と基本方針

当社は、本コードのそれぞれの原則を踏まえた、コーポレートガバナンスに関する基本方針を下記のとおりとしています。

・当社は、「経営理念」および「会社方針」の実現を通じて、社会に貢献し、社会から必要とされる存在であり続けるため、株主、従業員、顧客、取引先、債権者、地域社会その他の様々なステークホルダーへの価値創造に配慮した経営を行い、企業価値向上へ繋がる最適なコーポレートガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組むものとする。

・当社は、当社の長期的な企業価値の向上のために、適確かつ迅速な意思決定・業務執行体制ならびに適正な監督・監視体制の構築を図るとともに、透明性を高め適切な情報開示と説明責任を果たすことにより、経営判断の合理性・客観性を保ち、当社の株主を含めた全てのステークホルダーの期待に応えていくものとする。

また、その他の内部統制に関する基本方針は、当社有価証券報告書にて「コーポレートガバナンスの状況等」として開示しております。

(iii) 取締役会が経営陣幹部・取締役の報酬を決定するに当たっての方針と手続

当社の取締役報酬は会社業績との連動性を確保し、職責や成果を反映した報酬体系としております。

役員の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針の内容及び決定方法につきましては当社有価証券報告書にて記載しております。

(iv) 取締役会が経営陣幹部の選任と取締役・監査役候補の指名を行うに当たっての方針と手続

(v) 取締役会が上記(iv)を踏まえて経営陣幹部の選任と取締役・監査役候補の指名を行う際の、個々の選任・指名についての説明

当社の取締役・監査役候補の選任・指名に関しては、的確かつ迅速な意思決定と適材適所の観点より人物・経歴等を総合的に検討しています。

選任・指名に当たっての手続きとしては、代表取締役会長および取締役社長が上記方針に従い慎重に検討したうえで取締役会に上程し、取締役会ではそれを踏まえて経営陣幹部及び取締役・監査役候補者の個々の内容を検討した上で決議しております。

また、個々の選任・指名についての説明は、当社ホームページ(<http://www.emsystems.co.jp/information/meeting.html>)に掲載している株主総会招集通知に記載しているほか、新任候補者に関しては決定後すみやかに開示しております。

【補充原則4-1-1 取締役会の判断・決定、経営陣に対する委任の範囲の開示】

当社取締役会は、法令、定款及び「取締役会規則」にて定められた重要事項を意思決定するとともに、取締役の職務執行を監督しております。

また、「職務権限規程」により取締役が執行できる範囲を定め、業務執行に機動性と柔軟性を持たせております。

【原則4-9 社外取締役の独立性判断基準および資質】

当社における社外役員の独立性に関する判断基準は以下のとおりです。

当社の社外取締役または社外監査役が独立性を有するという場合には、当該社外取締役または社外監査役が以下のいずれにも該当してはならないこととしております。

(1) 当社を主要な取引先とする者またはその業務執行者

(2) 当社の子会社の業務執行者(社外監査役を独立役員として指定する場合にあっては、業務執行者でない取締役を含む)

(3) 当社からの役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家または法律専門家(当該財産を得ている者が法人、組合等の団体である場合は、当該団体に所属する者をいう。)

(4) 最近1年間において、(1)から(3)までのいずれかに該当していた者

(5) 次の1から3までのいずれかに掲げる者(重要でない者を除く。)(二親等内の親族

1. (1)から(4)までに掲げる者

2. 当社の子会社の業務執行者(社外監査役を独立役員として指定する場合にあっては、業務執行者でない取締役を含む)

3. 最近1年間において、2または当社の業務執行者(社外監査役を独立役員として指定する場合にあっては、業務執行者でない取締役を含む)に該当していた者

(注)

1. 「当社を主要な取引先とする者」とは、直近事業年度においてその者の年間連結総売上高の2%の額以上の支払いを、当社から受けた者をいうこととしております。

2. 「当社の子会社」とは、直近事業年度において当社の年間連結総売上高の2%の額以上の支払いを、当社に行った者をいうこととしております。

3. 「当社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ている」とは、直近事業年度において役員報酬以外にその者の売上高または総収入の2%または1,000万円のいずれか高い方の額以上の金銭または財産を当社から得ていることをいうこととしております。

【補充原則4-11-1 取締役の選任方針等の開示】

取締役会の機能を最も効果的かつ効率的に発揮するとともに、取締役会の活性化を図る観点から、取締役の員数を11名以内と定め、当社の業務に精通した社内取締役と社外における豊富な経験と知見を有する社外取締役を組み合わせ、取締役会全体としての知識・経験・能力をバランスよく備えた構成となるよう専門知識や経験等のバックグラウンドが異なる多様な取締役で構成します。

【補充原則4-11-2 取締役のほか上場会社の役員兼任状況の開示】

社外取締役・社外監査役をはじめ、当社取締役・監査役の兼務状況については、定時株主総会招集通知や有価証券報告書にて毎年開示して

おります。なお、社外取締役・社外監査役の当社取締役会における出席状況等についても株主総会招集通知で情報開示しており、その役割・責務を適切に果たしております。

【補充原則4-14-2 取締役・監査役のトレーニング方針の開示】

当社は、取締役・監査役に当社費用での社外研修受講の推奨や、外部講師を招いた研修を実施するなど、役員のトレーニングについては積極的に支援する方針であります。また、会議における資料等媒体を通じて適時に必要な情報を提供できるよう努めております。

【原則5-1 株主との建設的な対話に関する方針】

当社は、株主との建設的な対話を促進するための体制整備・取り組みに関する方針を下記のとおり定めております。
当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するよう、株主との建設的な対話を重んじるものとする。把握した意見・主張を真摯に検討し、必要に応じて適切に経営に反映させるための体制を以下のとおりとする。

- (1) 株主との対話促進について統括し、建設的な対話ができるよう管理担当取締役をIR担当取締役に指定する。
- (2) 上記IR担当取締役を中心とし、総務、経理、営業統括部門等関係部門にて協力し、株主との対話を促進するために用いる情報の整理や資料の作成などを、行うものとする。
- (3) 個別面談以外にも、事業報告会や決算説明会などによる対話、電話やホームページでの問合せ時の対話、社外リソースを活用した企業レポートの配信など、IR活動の充実を図るものとする。
- (4) 対話において把握した株主の意見・懸念はIR担当取締役より経営陣に発信のうえ共有し、独立・客観的な視点から明らかとなった課題については、その解決策を適宜取締役会にて検討するものとする。
- (5) 経営陣幹部および取締役は、未公表の重要な内部情報（インサイダー情報）が外部へ漏洩するのを防ぐため、取締役社長および情報管理責任者と連携を図り、情報管理を徹底する。
- (6) 当社は、必要に応じて株主名簿とその統計表等を用いて自らの株主構成の把握に努めるものとする。

2. 資本構成

外国人株式保有比率	10%以上20%未満
-----------	------------

【大株主の状況】更新

氏名又は名称	所有株式数(株)	割合(%)
株式会社コックウ	2,971,000	33.47
株式会社メディパルホールディングス	882,900	9.94
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	474,526	5.34
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	449,200	5.06
國光 浩三	264,750	2.98
エプソン販売株式会社	244,900	2.75
國光 宏昌	233,500	2.63
EMシステムズ従業員持株会	225,675	2.54
株式会社イーエムシステムズ	200,477	2.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	160,200	1.80

支配株主(親会社を除く)の有無	——
親会社の有無	なし

補足説明

3. 企業属性

上場取引所及び市場区分	東京 第一部
決算期	3 月
業種	情報・通信業
直前事業年度末における(連結)従業員数	500人以上1000人未満
直前事業年度における(連結)売上高	100億円以上1000億円未満
直前事業年度末における連結子会社数	10社未満

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針

5. その他コーポレート・ガバナンスに重要な影響を与えうる特別な事情

該当事項はありません。

// 経営上の意思決定、執行及び監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

1. 機関構成・組織運営等に係る事項

組織形態	監査役設置会社
------	---------

【取締役関係】

定款上の取締役の員数	11 名
定款上の取締役の任期	1 年
取締役会の議長	社長
取締役の人数	8 名
社外取締役の選任状況	選任している
社外取締役の人数	1 名
社外取締役のうち独立役員に指定されている人数	1 名

会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※)										
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k
今泉英壽	他の会社の出身者											

※ 会社との関係についての選択項目

※ 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」

※ 近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」

a 上場会社又はその子会社の業務執行者

b 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役

c 上場会社の兄弟会社の業務執行者

d 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者

e 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者

f 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家

g 上場会社の主要株主(当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者)

h 上場会社の取引先(d、e及びfのいずれにも該当しないもの)の業務執行者(本人のみ)

i 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者(本人のみ)

j 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者(本人のみ)

k その他

会社との関係(2)

氏名	独立役員	適合項目に関する補足説明	選任の理由
今泉英壽	○	—	製薬業界における豊富な知識と経験、高い見識を有していることから、中立な社外取締役として適任と判断し招聘しております。 なお、当社の親会社や兄弟会社、大株主企業、主要な取引先の出身者ではありません。 また、一般株主と利益相反が生じるおそれがないため、独立役員として指定しております。

指名委員会又は報酬委員会に相当する
任意の委員会の有無

なし

【監査役関係】

監査役会の設置の有無	設置している
定款上の監査役の員数	5 名

監査役の人数	3名
--------	----

監査役、会計監査人、内部監査部門の連携状況

当社の監査役と会計監査人の連携状況につきましては、期初、期中、期末の他、定期監査などの際に意見交換を行い、現状の整合性、適法性、将来の方向性を確認しつつ、速やかに業務運営の適正化、高度化に反映させております。なお、会計監査人の内部統制についても、随時ヒアリングを実施しております。

当社の監査役と内部監査部門の連携状況につきましては、内部監査室の年度内部監査計画策定時より連携し、監査役監査の計画を策定しております。

これに基づいた往査にあたっては、監査役間で分担して同行し、指導の内容、手順、方策の検討、決定に参加するとともに、改善の過程を監視して適合性を確認しております。また、相互間を一衣帯水の距離に置き、必要に応じた対話の体制を講じております。

社外監査役の選任状況	選任している
社外監査役の人数	2名
社外監査役のうち独立役員に指定されている人数	2名

会社との関係(1)

氏名	属性	会社との関係(※)												
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
松田繁三	弁護士													
延原耕三	他の会社の出身者													

※ 会社との関係についての選択項目

※ 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」

※ 近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」

a 上場会社又はその子会社の業務執行者

b 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与

c 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役

d 上場会社の親会社の監査役

e 上場会社の兄弟会社の業務執行者

f 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者

g 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者

h 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家

i 上場会社の主要株主(当該主要株主が法人である場合には、当該法人の業務執行者)

j 上場会社の取引先(f、g及びhのいずれにも該当しないもの)の業務執行者(本人のみ)

k 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者(本人のみ)

l 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者(本人のみ)

m その他

会社との関係(2)

氏名	独立役員	適合項目に関する補足説明	選任の理由
松田繁三	○	——	同氏は弁護士であり法務分野における豊富な知識と経験、高い見識を有していることから招聘しております。 なお、当社の親会社や兄弟会社、大株主企業、主要な取引先の出身者ではありません。 また、一般株主と利益相反が生じるおそれがないため、独立役員として指定しております。
延原耕三	○	——	同氏は当社とは異なる業界での豊富な知識と経験、高い見識を有していることから招聘しております。 なお、当社の親会社や兄弟会社、大株主企業、主要な取引先の出身者ではありません。 また、一般株主と利益相反が生じるおそれがないため、独立役員として指定しております。

【独立役員関係】

独立役員の人数	3名
---------	----

その他独立役員に関する事項

当社は独立役員の資格を充たす社外役員を全て独立役員に指定しております。

【インセンティブ関係】

取締役へのインセンティブ付与に関する施策の実施状況	業績連動型報酬制度の導入、ストックオプション制度の導入
---------------------------	-----------------------------

該当項目に関する補足説明

当社は、会社業績等を勘案し、業績に応じた報酬を支給することとしています。

ストックオプションの付与対象者	社内取締役、社内監査役、従業員、子会社の取締役、子会社の執行役、子会社の監査役、子会社の従業員
-----------------	---

該当項目に関する補足説明

一定の役職者に対し、子会社も含め付与しております。
上記を付与対象としている理由はグループ社員の経営参画に対するインセンティブを高めるため。

【取締役報酬関係】

(個別の取締役報酬の)開示状況	個別報酬の開示はしていない
-----------------	---------------

該当項目に関する補足説明

有価証券報告書ならびに事業報告につき取締役および監査役別に各々の総額を開示しております。また、社外取締役、社外監査役につきましては、それぞれの総額を内数として開示しております。

報酬の額又はその算定方法の決定方針の有無	あり
----------------------	----

報酬の額又はその算定方法の決定方針の開示内容

取締役の報酬限度額は、平成18年6月29日開催の第23期定時株主総会において月額30,000千円以内と決議しております。なお、取締役個々の報酬につきましては取締役会において取締役の報酬算定の具体的基準を定め、これに従って決定することにより透明性の確保を図っております。
監査役の報酬限度額は、平成11年6月23日開催の第16期定時株主総会において月額2,000千円以内と決議しております。なお、監査役個々の報酬につきましては株主総会の決議を得た範囲内で監査役会の協議によって定めております。

【社外取締役(社外監査役)のサポート体制】

当社は、取締役会においては、社外取締役および社外監査役に対しても事前に資料を配布するとともに、取締役その他の使用人に事業の報告を求める時間を設けております。また、情報の収集にあたっては、稟議書等の重要な文書の閲覧が随時可能となっております。

さらに、監査役が配置を求めた場合、取締役会は監査役と協議のうえ、監査役の業務補助のため監査役スタッフをおくこととします。そのために、内部監査室員を補助すべき使用人として指示しております。

2. 業務執行、監査・監督、指名、報酬決定等の機能に係る事項(現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要)

取締役会について

当社は、法定事項及び社内規程において定める取締役会の決議が必要な事項、その他業務執行に関する重要事項を意思決定するとともに、取締役の業務執行状況を監督するため、定時取締役会を月1回開催しております。また、取締役会の開催が必要な事項が発生したときには、必要に応じて都度臨時取締役会を開催しております。

社外取締役について

当社は、取締役会における意思決定において、業務執行から独立した中立的、客観的な立場からの意見を反映させるため、当社及び大株主企業、主要な取引先の出身者ではない者を社外取締役として1名選任しております。

社外取締役は取締役会に常に出席し、適宜必要な意見表明を行っております。

監査役について

当社は、取締役の業務執行の監査および会計監査のため監査役制度を採用しており、常勤監査役を1名、非常勤監査役を2名(うち社外監査役を2名)選任しております。

監査役は取締役会に常に出席し、取締役会の中で意見を表明する時間を設けており、取締役のコンプライアンス意識の向上を図っております。

また、監査役会を設置し、定例監査役会を月1回開催しております。

社外監査役について

当社は、経営意思決定手続が法令、定款ならびに社内規程を遵守しているかを中立的、客観的な立場から監査するため、当社及び大株主企業、主要な取引先の出身者ではない者を社外監査役として2名選任しております。

執行役員について

当社は、経営環境と業界基準の変化に迅速に対応することを目的として執行役員制度を設けており、業務執行状況の確認ならびに経営戦略の立案、審議を行うため、全執行役員の出席による本部長会議を月1回開催しております。

3. 現状のコーポレート・ガバナンス体制を選択している理由

当社は、取締役による適正な経営管理を確保しつつ、監査役による経営チェック機能を活用するために監査役制度の体制を採用しております。また、執行役員を任命し、取締役会の意思決定に対して適切な経営管理と効率的な業務執行の両立が図れる体制としております。

さらに、取締役会、監査役、内部監査室及び会計監査人において連携を持ちながら、業務の意思決定とリスク管理、コンプライアンスの徹底及び内部統制の強化を図るため、上述の体制を採用しております。

社外取締役においては取締役会における意思決定において、業務執行から独立した中立的、客観的な立場から意見を反映させるため、当社及び大株主企業、主要な取引先の出身者ではない者を社外取締役として選任しております。

社外取締役は取締役会に常に出席し、適宜必要な意見表明を行っております。

///株主その他の利害関係者に関する施策の実施状況

1. 株主総会の活性化及び議決権行使の円滑化に向けての取組み状況

	補足説明
その他	・定時株主総会の開催場所の決定方針について 当社は第25期定時株主総会(平成20年3月期)にかかる定時株主総会よりその開催場所を、JR新大阪駅より徒歩3分というロケーションの良さを活かし、当社が所有し本社として事務所を構える新大阪ブリックビル3階会議室にて開催しております。従来より同場所、子会社である株式会社ラソンテが経営する貸会議室の中でも収容人数200人という一番大きな会議室を使用してきましたが、今後ともこの方針を堅持する計画であります。また株主総会終了後、株主に対し事業説明会を行っております。 ・注記表のWEB開示について 第30回定時株主総会の招集通知より、連結計算書類の連結注記表および計算書類の個別注記表を法令および定款に基づくインターネット開示と致しました。 ・ホームページへの招集通知の掲載について 第31回定時株主総会時より招集通知を弊社ホームページにて発送日同日に掲載を行っております。

2. IRに関する活動状況

	補足説明	代表者自身による説明の有無
個人投資家向けに定期的説明会を開催	当社は、定期的に個人投資家向け説明会を開催しております。	あり
アナリスト・機関投資家向けに定期的説明会を開催	当社は、半期ごとにアナリスト向け説明会を開催しております。また、説明会以外にも個別面談方式での業績説明を四半期ごとに行っており、安定株主の獲得を目指したIR活動を継続的に行っております。	あり
IR資料のホームページ掲載	当社は、四半期ごとの決算、および業績に影響を及ぼす可能性のある情報は随時、開示しております。 URL http://www.emsystems.co.jp/information/ir.html ≪掲載情報≫ IR関連の年間スケジュール 財務情報 プレスリリース 株価推移情報 当社の決算公告 その他の財務関連公告	
IRに関する部署(担当者)の設置	当社のIR業務につきましては、管理本部長を責任者として管理本部内にIR担当者を配置し対応しております。	

3. ステークホルダーの立場の尊重に係る取組み状況

	補足説明
ステークホルダーに対する情報提供に係る方針等の策定	当社は、ステークホルダーに対する迅速な情報開示を重視しており、重要な決定事項、発生事項につきましては、弊社ホームページ、東証ホームページ等を利用し速やかに開示しております。

IV 内部統制システム等に関する事項

1. 内部統制システムに関する基本的な考え方及びその整備状況

1. 取締役及び使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

取締役は、取締役会が決定する業務担当に基づいて法令ならびに会社規程に則り業務を執行し、経営環境の変化に対応して経営責任を明確にするため任期を1年としております。なお、取締役の職務の執行にかかる適法性を高めるため、社外取締役を配置しております。

当社は、社内教育等を通じて法令ならびに社内ルールの周知徹底を図ることを目的として、代表取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置しており、経営に係るリスクが発生した場合において適時に開催して速やかな対応を図るとともに、これらのリスクによる損失を最小限にとどめるものとしております。

当社は、業務執行者の職務執行の妥当性およびコンプライアンスの状況について調査するため、業務執行部門から独立した代表取締役直属の機関として内部監査室を設置しております。内部監査室は、法令、定款および会社規程の遵守状態、職務の執行の手続および内容の妥当性を定期的に監査し、その結果を代表取締役および監査役に報告しております。

当社は、法令ならびに会社規程に違反する行為または会社に著しい損害を与える恐れのある事実を早期に発見、是正することを目的として内部通報体制を構築しております。

2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

当社は、株主総会、取締役会等の重要な会議の議事録や稟議書等の重要な文書ならびに電磁的記録について、管理部門担当取締役を責任者として会社規程に定められた期間保存しております。なお、取締役ならびに監査役は、必要に応じてこれらの文書を常時閲覧することが可能です。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

当社は、コンプライアンス体制を有効に機能させることを目的として会社規程を制定し、平常時からリスクの低減および危機の未然防止に努めるとともに、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しております。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役会は、業務執行にかかわる重要事項の意思決定ならびに取締役の経営計画に基づいた業務執行状況の監督を適切に行うことを目的として毎月1回以上開催しており、原則として全取締役および全監査役が出席しております。

当社は、取締役会の意思決定機能ならびに業務執行機能の分離を目的として執行役員制度を導入しております。さらに毎月1回開催される本部長会議において業務執行状況の確認ならびに経営戦略の立案、審議を行っております。

5. 当社ならびに子会社から成る企業グループにおける業務の適正を確保するための体制

当社は、子会社の経営についてはその自主性を尊重しつつも、会社規程に基づいて当社への事業内容ならびに会計記録の定期的な報告を義務づけており、必要に応じて適正な助言を行っております。

子会社からの重要案件については、当社を含めて事前協議を行うとともに、子会社から起案された重要な稟議書については、当社の管理部門担当取締役にも回覧されており、企業グループ全体としての情報共有に努めております。

当社の内部監査室は、定期的に子会社における法令、定款ならびに会社規程の遵守状態、職務の執行の手続および内容の妥当性を監査しており、当社同様、被監査部門に対して問題点の是正または改善を勧告しております。

6. 監査役の職務を補助すべき使用人に関する事項および当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

取締役会は、監査役が配置を求めた場合は、協議のうえ監査役の業務補助のための使用人を配置することとします。なお、その期間中は指名された使用人への指揮権は監査役に委譲されるものとしており、その使用人の人事配置や人事考課等については、監査役の事前の同意を得ることにより、取締役からの独立性を確保します。

7. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

取締役及び使用人は、当社グループに著しい損害を及ぼす恐れのある事実を発見した場合のほか、会社経営および事業運営上の重要事項ならびに業務執行の状況および結果について、速やかに監査役に報告しております。

監査役は、重要な意思決定の過程および業務の執行状況を監視するため、当社グループの取締役会ならびにその他の重要な会議および委員会に出席し、業務執行にかかる重要な意思決定に臨席するとともに、稟議書等の重要な文書を閲覧し、必要に応じて関係する取締役または使用人に説明を求めています。

当社は、監査役へ報告を行った当社グループの役職員に対し、当該報告をしたことを理由として不利益な取り扱いを行うことを禁止し、その旨を当社グループの役職員に周知徹底しております。

8. 監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

監査役は、会計監査人と定期的に情報交換を行っております。また、内部監査室との間で事業ごとの内部監査計画について協議を行うとともに、内部監査報告書を閲覧して協議ならびに意見交換を行い、常に連携を図っております。

当社は、監査役がその職務について、当社に対し、会社法388条に基づく費用の前払い等の請求をしたときは、担当部署において審議の上、当該請求に係る費用または債務が当該監査役の職務の執行に必要なと認められた場合を除き、速やかに当該費用または債務を処理しております。

2. 反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況

当社グループは、反社会的行為への関与を禁止し、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対し一切の関係を遮断するとともにこれらの活動を助長するような行為を行いません。

また、管理本部を対応統括部署として弁護士・警察等の外部専門機関と連携を図り、反社会的勢力に対してはグループ全体として組織的に毅然とした姿勢で対応してまいります。

Vその他

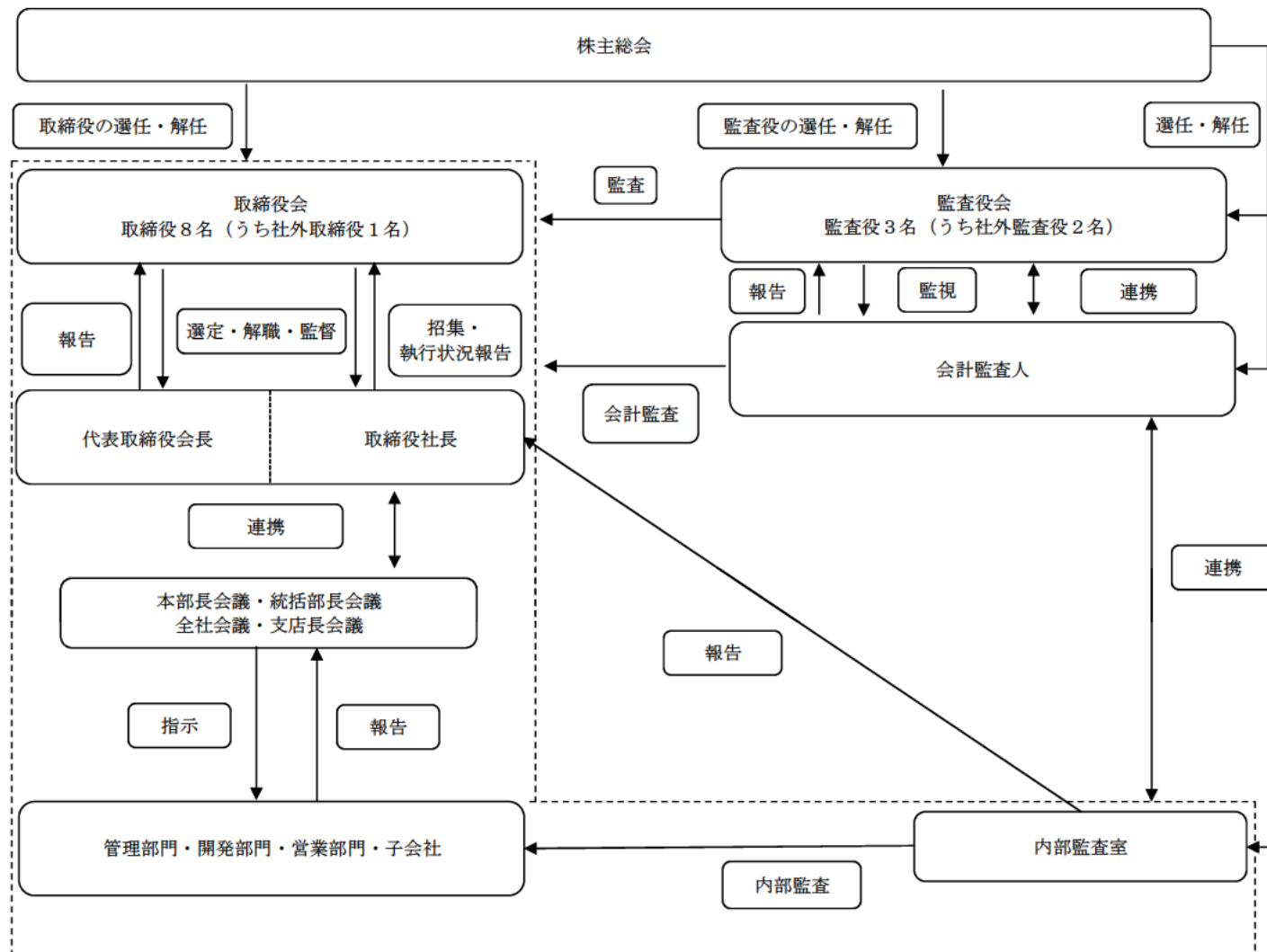
1. 買収防衛策の導入の有無

買収防衛策の導入の有無	なし
-------------	----

該当項目に関する補足説明

2. その他コーポレート・ガバナンス体制等に関する事項

コーポレートガバナンス体制



適時開示体制

